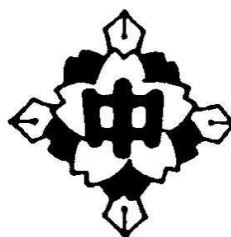


平成28年度『特色ある学校づくり対策事業』実践事例報告

佐世保市立柚木中学校

佐世保市柚木町2063番地
校長 萩原 郁子
生徒数 82名
学級数 4学級



【JRC加盟校】

1 学校努力目標と重点努力事項

本校教育目標『心豊かで自ら学ぶ たくましい生徒の育成』の具現化を目的とする。
重点努力事項『4UPプラン』

①学力UPプラン

- ・授業改善、わかる授業の実践
- ・学習形態、指導法の改善
- ・放課後学習(ステップアップ 15)の充実

②マナーUPプラン

- ・道徳、命の教育の充実
- ・人権・平和教育の推進
- ・一校一徳運動の推進

③生活UPプラン

- ・ほめる、励ます生徒指導
- ・思いやりと励まし合う学級づくり

④体力・気力UPプラン

- ・部活動、保体での心身の鍛練と指導の充実
- ・健康、安全の自己管理能力の育成
- ・学校行事・育友会行事への参加

2 特色ある学校づくり対策事業の目的

学校教育目標の具現化を目指し、重点努力事項を手立てとして、今年度は以下の目的で特色ある学校づくりに取り組みました。

(1) 学力向上と授業改善

- ・研究授業の実施により各教科の授業改善を図る。言語活動の充実とTT授業の推進による指導法の改善により「学力向上」の指導を徹底する。

(2) 豊かな心の育成

- ・県立ろう学校佐世保分校との交流学习や花や野菜の栽培を通して、思いやりの心を育て、地域に根ざした学校づくりをさらに推進する。

(3) 人とともに生きる力の育成

- ・人権・平和教育を充実させ、人権、平和に対する生徒の意識と態度の向上を図る。
- ・学校パンフレット、年間行事カレンダーを作成し、保護者や地域に広く配布し、学校教育活動に対する理解と協力を得るための大きな一助とする。

(4) キャリアプランニング能力の育成

- ・将来の生き方について考え、目標を持って意欲的に自己実現を図り、よりよい社会を築こうとする力を育てる。

3 本校の伝統

柚木精神『校門の第一歩は学習の第一歩』を受け継ぎ、登下校の折に校門前で足を止め、校舎に向かって一礼をしています。『校風を受け継いでいこう』と生徒会活動の一環として行われているものです。生徒会・育友会で作成した一校一徳運動スローガンをもとに、あいさつの習慣化、親子のコミュニケーションづくりに取り組んでいます。

また、今年度加盟した青少年赤十字の活動の一環として、熊本地震災害募金活動や地域公民館まつりへの協力などのボランティア活動にも積極的に参加し、社会性や奉仕の精神を育む取り組みを行っています。

このように、恵まれた自然環境と地域環境を学校教育に取り入れ、地域と一体となって心身共にたくましい生徒の育成に取り組んでいます。



【柚木中精神の石碑】



【地域行事での募金活動】



【一校一徳運動スローガン】

4 実践内容

(1) 学力向上の推進

①学力向上プロジェクトの実施

年度初めに、学力向上に関わる取組と到達目標を明示したリーフレットを作成し、生徒、保護者、地域に配布しました。現在、実施している取組、今後、充実させる取組、新たに実施する取組を明確にし、職員研修や学級指導等と関連させながら推進しました。

今年度は、各教科の授業での生徒の活動がより活発になることを目指して、生徒同士の学び合いを取り入れるためのグループ活動を研究しています。年度末には、目標への到達度を分析し、次年度につなげるようにしました。

②イングリッシュスクエア英語体験活動

日頃、教室で学習している英語を実際の生活場面で使う力を培うことを目的に、2年生がハウステンボス内にあるイングリッシュスクエアで体験学習をしました。外国人スタッフを相手に、空港やお店、レストラン等、各ブースを回りながら基本的英会話を実践しました。

【実践英会話に挑戦→】



③ステップアップ15の実施

毎週5日間(月曜日から金曜日)、帰りの短学活終了後の15分間を有効に活用して学習に取り組んでいます。各教科から出された課題や、授業で学んだことの復習などを行い、基礎学力の向上を図っています。また、1月からは、全国・県・市の学力調査の分析をもとに、特に本校生徒の課題となっている問題に重点的に取り組んでいます。

【リーフレットの表紙→】



④リーフレット『柚木中生徒の学びの習慣化』の作成

全国・県・市の学力に関する調査結果や校内での活動状況を分析し、課題と成果を明確にしたリーフレット『柚木中生徒の学びの習慣化』を作成し、家庭、地域に配布しホームページでも公表しました。

⑤個人成績表『まなびの記録』の作成

定期テスト、実力テストの結果、アドバイスを加えたテスト成績表や、諸検査等をクリアファイルに保存し、3年間の学習状況が把握しやすいようにしています。

(2) 豊かな心の育成

①一人1プランター花づくり

自然や生命の尊重、環境美化を目的に、年間を通して一人一人が自分のプランターで花を育てました。地域の方から花を購入し、年2回花植えをして世話しながら、美しい学校環境をつくり、卒業式、入学式では自分たちで育てた花で会場を飾りました。 【春の花植え→】



②国際理解教育（国際交流員による国際理解教育）

6月の「いのちを見つめる月間」に行う日曜参観日の行事として、本市国際交流員2名（中国・韓国）をお招きし、2国の学校や学生の生活について学びました。縦割りグループによるワークショップの形式で学習をすすめ、日本との違いを知ること、他の国に生きる人々を理解し、尊重しようという気持ちを持つことができました。

③交流ロードレース大会

保護者、地域の方々に見守られながら、両校の生徒が懸命な走りを見せてくれました。体力と忍耐力を醸成するとともに、県立ろう学校の生徒と共に走る交流活動を通して、障がいを持つ方々の気持ちや、抱える悩みなどに理解を深めながら、人権意識の高揚を図っています。



【国際交流員による講演】



【掲示教育】



【全員完走したロードレース大会】

(3) 人とともに生きる力の育成

①6. 29平和集会（藤沢 静江さんによる講演会）

佐世保空襲を体験された藤沢静江さんによる講演会を行いました。生徒達は空襲を受けた佐世保市民の様子についてのお話を聞いて戦争の実相を知り、当時の佐世保市民が受けた苦しみを理解しました。

この学習を通して平和の尊さに気づくとともに、平和を築くことの大切さを知り、他国の人々とともに平和的な国際社会をつくろうとする気持ちを持つことができました。



【応急消火のための道具】

(4) キャリアプランニング

①事業所訪問と職業講話

地域との連携では、2年生が海事産業見学を行いました。本市の基幹産業の一つである造船所、佐世保港に関連する海運や施設等の事業所を見学し、そこに働く人の姿に接しました。生徒にとって、佐世保市の特色について理解を深めるとともに、将来の進路を考える上で貴重な体験となりました。



【佐世保港での見学】

②職場体験学習

地域の17事業所で3日間の『職場体験学習』を行いました。各事業所の方々に仕事の内容を教わりながら、将来の進路選択のための貴重な体験をしました。2年生におけるこれらの体験学習は1年時の職業調べをもとにし、3年の進路選択につながる重要な体験となりました。



【各事業所での職場体験】

(5) その他の活動

①伝統文化体験学習

国際化、グローバル化が進む現代では、自国の文化を知り、誇りを持つことが大切です。そこで本校では日本の良さを知り、伝統を継承しようとする意欲を高めるため、「着付け教室」と「茶道教室」を行っています。

〔2年生 着付け教室〕NPO法人「あんずの会」の皆さんを講師に、日本の伝統衣装である着物に親しみ、実際に自分で着る体験学習を行いました。

〔3年生 茶道教室〕山口俊江先生と満武亜弥さんに講師をお願いし、地域の方に寄贈していただいた茶器を使って、3年生全員が茶道を体験しました。茶道の心、作法を教わることで日本人の魂を感じ取りました。



【浴衣の着付けにチャレンジ】



【茶道の精神、一期一会を体験】



②豊かな講演会

地域老人福祉施設「ゆずの里」および長崎県社会福祉協議会より講師をお招きして福祉の仕事に関する講演会を行いました。福祉の仕事は身近な地域にあり、生徒の家族にも関わりがある事を知りました。

毎日仕事をされている方々からのお話を聞いて、その仕事のやり甲斐や難しさを知りました。

生徒は福祉に関わる仕事について理解を深めるとともに、命の尊さ、高齢者に対する理解、家族への接し方などを深めるとともに、自分自身の進路や生き方について考えることができました。



【生き方講演会】

